

2017-05-25 (木)

クラウドソーシングを使って仕事してみる

在宅で自分の好きな時間に出来るので、クラウドソーシングサービスを使ってライティングの仕事をしてみた。

クラウドソーシングは、群衆(crowd)と業務委託(sourcing)を組み合わせた造語でアウトソーシング(業務の外部委託)と対比される。専門業者に外注するのではなく、不特定多数の人に業務を外注する。クラウドソーシングサービスは、仕事を外注したい人と受注したい人をウェブサイトでつなぐサービスのこと。そんなサイトに登録して仕事してみた。

募集しているのは、システム開発、ホームページ制作、アプリ開発、デザイン、動画作成、翻訳、ライティングなどパソコンを使った仕事メインだ。サイトは[ランサーズ](#)、[クラウド](#)、[クラウドワークス](#)、[シュフティ](#)他いろいろあるけどライティングの仕事が多そうだったクラウドワークスに登録してみた。

これまでしてきた仕事内容や好きなこと、得意なことなどをプロフィールに書いて、運転免許証などの本人確認書類をスキャンして提出して準備完了。仕事の種類や募集形式などいくつか条件を設定して検索をかけ、出てきた中で出来そうな仕事、興味を持って取り組めそうな仕事を探す。応募の際にも簡単な自己紹介文などを求められることがあって、エコに関心があると書いたら、関連する内容のテスト記事の依頼があった。

これから出産・育児をするかと思うと、自分のペースで自宅で仕事出来るのがいいと思う。けれどエネルギー消費を考えると、昼間に自宅で働く時に消費するエネルギーの量とオフィスで人と一緒に働いた時に消費する1人あたりのエネルギー消費量とどちらが多いだろうか？今はまだ子どもがいないので、人と一緒に働いた方がエネルギー消費は少なくて済むのかもしれない。



イラスト: [イラスト AC](#)

著者: minima
アラフォー女子。グリーンコンシューマー東京ネット
会員。この連載をまとめた電子書籍
「[エコな買物がしたい](#)」がアマゾンにて販売中。